

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 28 年 3 月 16 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ キョクリュウガックアンゼン・アンシンネットワーク
団体名 旭竜学区安全・安心ネットワーク
所在地
連絡先
フリガナ
代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ☒ ア 地域課題解決 ☐ イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ オ その他
事業名	旭竜学区防災マップ作成事業
事業実施区域 (小学校区)	旭竜学区
事業 実 施 内 容	旭竜学区には7つの町内会が存在するので、第1段階の作業として、各町内会長に消火栓、公園、駐車場、グラウンド、医療施設、公衆電話、クリニック等の主要な施設を町内会別に白紙のマップに落としてもらった。それを事務局で、A1サイズの1枚のマップにまとめたうえで、作業班会議を5回重ねた。 一方、最終段階で、事務局の方で2回学区全体を現地調査し、マップ原案と現地との間に違いがないかをチェックした。 旭竜小学校の4年生にグラ刷りの防災マップを配布し意見を聞いた。用水沿いの道等について、児童の感覚から見て、危険との指摘があり、避難するうえで危険な道として表示した。 旭竜学区老人クラブ連合会役員、いきいきひろば八幡のメンバーにも意見を聞いた。 作業班会議をする中で、「旭竜学区の自然災害の歴史(明治以降)」、「災害への備え」、「浸水対策」を入れた方がよいという意見があり検討し、後二者は防災マップ上に採り入れたが、自然災害の歴史は、スペースの都合上入れることが無理であったので、別途印刷し、防災マップを配布する際に戸々に配布することとした。 最終原案は平成28年1月末に完成、2月上旬に印刷を完了し、2月中旬に学区民全戸及び関係先に配布した。

事業目的とその達成状況と効果	今回の防災マップ作成にあたり目標としたことは、 (1) 災害避難情報の共有により、災害時に安全な避難が可能となること、 (2) 平成28年度以降、マップを利用した防災訓練を実施することにより、安全な避難が可能となること、 (3) 防災訓練と相まって、防災意識の高揚を図ることができること の3点であった。 (1) については、学区民全戸及び学区内関係施設に配布し、情報の共有を図った。 (2) については、平成28年6月25日（土）に旭竜小学校と連携した第5回目の防災訓練を実施する際に、防災マップを利用した避難訓練を実施する予定である。 (3) については、室内への掲示を促すとともに、実際の危険か所と史跡を織り交ぜたウォーキング等を計画し、危険か所等を実体験できるようにする予定である。 防災マップを見た学区民や施設管理者等からは、分かりやすく、よくできているとの評価をいただいている。
----------------	--

企画などの工夫と情報公開	作業班会議をする中で、「旭竜学区の自然災害の歴史（明治以降）」、「災害への備え」、「浸水対策」を入れた方がよいという意見があり、当初裏面に印刷することを考えたが、壁面等に掲示して利用するとなると裏面は見ないだろう、ということになり、表面に記載することにしたが、前記のとおり、自然災害の歴史は別途印刷し、後二者は工夫して防災マップに掲載した。 各町内会で消火器を設置しているが、設置か所が多く、消火栓と紛らわしくなり、マップも複雑になるので掲載しなかった。 当初、A3サイズで計画したが、学区全域を表すには小さく、見えにくいことが分かったので、A2サイズに変更した。このため、印刷費用が高くなった。 次のとおり情報公開した。 (1) 中島町内会の電子町内会で公開した。 (2) ミニコミ紙「八幡だより」に防災マップの利用方法を掲載した。 (3) 学区内の医療・福祉施設、コンビニ等の施設に貼り出してもらった。 (4) 高島公民館に依頼し、公民会会議で配布してもらうようにした。 (5) 読売新聞大阪本社岡山支局に資料提供した。 (6) 旭竜小学校の6年生の授業においても、まちづくりの一環として説明した。
次年度計画	(1) 平成28年6月25日（土）に旭竜小学校と連携した第5回の防災訓練を実施する際に、防災マップを利用した避難訓練を行う予定である。 (2) 防災マップ上の危険か所と史跡を織り交ぜたウォーキング等を企画し、危険か所等を実体験できるようにする予定である。 上記の事業を行いたいと考えているが、「区づくり推進事業」として行うものではない。

- (1) 平成24年9月から毎年度1回防災訓練を実施し、すでに4回の防災訓練を実施した。
訓練する中で、避難ルートを記入してもらっているが、避難する際によりどころとなるルート図がなかったため、訓練の不十分さを感じていた。
今回の防災マップの完成により、この課題は相当改善されたと考えている。
- (2) 当学区では、毎月第1金曜日の夜、町内会、各種団体とから構成される「旭竜学区連絡協議会」(メンバー26名)を開催し、比較的地域のコミュニケーションはよく取れている方であるが、今回防災マップ作成作業班会議も重ねることにより、一層コミュニケーションが深まった。
- (3) 現在、県内では自転車の用水路転落による死亡事故が大きな問題となっているが、この事故防止対策に防災マップが利用できるものと考え、地域として何ができるのかを考え、地域としての対応に無理がある部分について、行政に要望していきたい。

■収 支 決 算 書

事業開始から27.12.31まで
それ以前のコピー代金
は補助対象外のため差引く

◆収 入

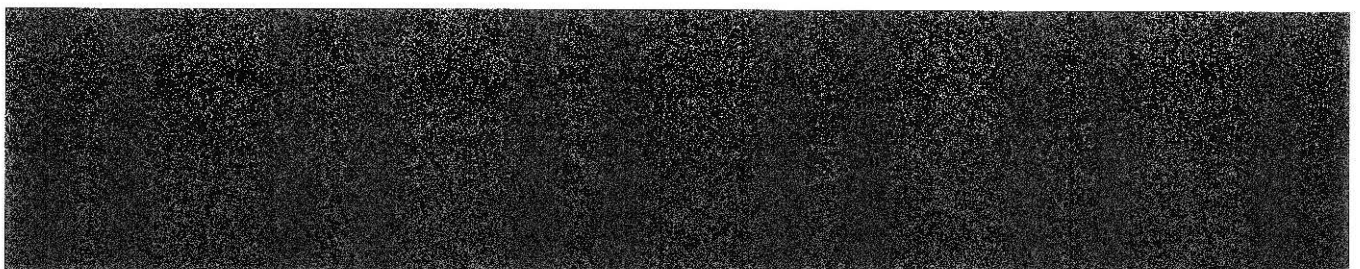
単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	120,000	120,000	
実施団体負担金	30,000	107,912 107,462	
		227,462	
計	150,000	227,912	

◆支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
消耗品費	4,000	2,559	蛍光ペン・水性ペン (1,489円) ゴム印等(1,070円)
食糧費	7,000	2,688	お茶代(56本)
印刷製本費	139,000	221,675 222,125	原稿地図コピー代、 (21,245円) 最終マップ作成費 (200,880円)
手数料	0	540	
		227,462	
計	150,000	227,912	



■事業実施にあたっての協働の状況

[illegible]

■事業実施経過

年 月 日	内 容
(1)平成27年 1月22日	岡山市勤労者福祉センターにおける「岡山市区づくり推進事業説明会」に参加
(2)平成27年 2月 6日	旭竜学区連絡協議会において、「平成27年度岡山市区づくり推進事業」の中の「地域活動部門」に、「旭竜学区防災マップ作成事業」を申請することを決定。
(3)平成27年 3月17日	平成27年度・「岡山市区づくり推進事業」の中の「地域活動部門」に、「旭竜学区防災マップ作成事業」を申請。
(4)平成27年 5月24日	岡山市中区役所3階会議室における「平成27年度第1回岡山市中区区づくり推進事業審査会」において、当事業を説明。
(5)平成27年 6月 5日	旭竜学区連絡協議会において、「旭竜学区防災マップ作成事業」を担当する作業班のメンバー25名を決定。
(6)平成27年 6月 5日	上記会議後、第1回旭竜学区防災マップ作成事業作業班会議を開催。事務局より、当事業の補助申請の内容を説明し、今後の作業の進め方を協議。 作業班のメンバーに、防災や防災の歴史等に詳しい郷土史家・[REDACTED]を加えた。
(7)平成27年 6月30日	当事業について、岡山市長より「補助金等交付決定通知書」の送付があり受領。
(8)平成27年 7月 6日 ～ 8月14日	町内会ごとに、現地調査をし、町内会の防災マップ原稿を作成。
(9)平成27年 8月17日 ～ 8月22日	事務局で、町内会ごとの防災マップ原稿を学区全体のマップ案にまとめ。
(10)平成27年 8月23日	第2回作業班会議を開催。分かりやすいマップとするため、何を掲載し、何を掲載しないかを協議。マップのサイズもA3では小さすぎるのでA2にすることに決定。
(11)平成27年 9月18日	第3回作業班会議を開催。作業班の中を6つの分野、6つのグループに分けて検討することを協議。
(12)平成27年10月2日	旭竜小学校4年生より、防災マップ案について意見をもらう。 用水路沿いの道が危険、用水上に架かる橋や暗渠部分の入口について、スクリーン(鉄の格子)がないので、用水路に落ち

	たとき怖いとの意見が多かった。洪水時に危険、注意すべ道路として表示した。
(13) 平成27年10月16日	第4回作業班会議を開催。最終的な防災マップ案を協議。作業班会議のメンバーに社会福祉法人を加えた。
(14) 平成27年10月22日	防災マップの印刷をシンコー印刷(株)へ発注。 印刷枚数:3,000部
(15) 平成27年11月 2日 ～11月 3日	事務局において、学区全体を歩いて、防災マップ案と現地との間に違いがないかをチェック。
(16) 平成27年11月25日 ～11月26日	学区内の各施設を訪問し、防災マップへ掲載することについて了解を取った。
(17) 平成27年12月11日	第5回作業班会議を開催。防災マップのゲラ刷り案の協議。
(18) 平成27年12月20日	「いきいきひろば八幡」にて、防災マップ案を説明し、意見を聞く。八幡町内の欄干のない橋が、洪水時には危険との指摘があり、地図に注意路線として入れた。
(19) 平成28年 1月13日	第5回作業班会議を開催。グループ長が出席し、最終稿を協議。
(20) 平成28年 1月25日	かねてより、老人クラブ連合会に対し、防災マップの説明をさせてほしいと申し入れていたが、説明会の開催はなかなか調整がつかず、主な役員に意見を求めている。 特に防災マップについての意見はなかったが、防災訓練がマンネリ化している等の指摘があった。
(21) 平成28年 1月28日	シンコー印刷(株)へ正式な印刷を依頼。
(22) 平成28年 2月 8日	シンコー印刷(株)より防災マップ3,000部が納付された。
(23) 平成28年 2月 8日	事務局より、7町内会長へ2,180枚配布。 以後随時各施設、機関等に配布。
(24) 平成28年 3月 1日	事務局より、旭竜小学校6年生に対し、「安全・安心なまちづくり」の一環として説明。